

人権に関する作文発表(徳間小学校)



コミわかでは人権教育・啓発活動として、小中学校の生徒さんに人権に関する作文を寄稿していただいています。今回は徳間小学校6年生の作文2点をご紹介します。この機会にご家庭内で人権について話し合ってみてはいかがでしょうか。(人権教育部会)

あいさつの意味

徳間小学校 六年 青山 拓登

ぼくは、あまり地域の人や上の学年の人、下の学年の人には少しあずかしくてという理由であいさつができていませんでした。いつも「かえしてくれなかつたらかなしいしな」とか「急に話しかけたらこわがられるかな」など色々考えすぎてしまつて、あいさつは地域の人などにもした方がいいのになと分かっているながら自分から地域の人などにけつきよくあいさつができるようになりました。

ある時下校中にぼくの友達が地域の方に「こんにちは」とあいさつをすると、地域の人が「こんにちは」と笑顔でかえしてくれました。あいさつをされた地域の方はとても気持ちよさそうしていました。

ぼくは、あいさつをすることは相手を笑顔にする大切なことだと改めて分かったので、これからはしっかりあいさつをしようと思います。

人権を守つて美しい世界へ

徳間小学校 六年 田中 乃愛

私は、世界人権宣言だけが特別大切というのではなく、今世界中で考えられている人権についての問題の全てが大切だと思います。

なぜなら、世界中で人権について考えるのをやめたら、いろんな国で戦争が起り、差別やまわりの人を「自分とは、ちがうから！」などとこうげきする言葉がとびかい、今幸せな人の生活がいっくずれてしまうからです。なので、私は今世界中が人権について考えることが大切だと思います。そしてこれからも人権を守つていくことで、平和な生活がずっと続していくと思います。

そのためには、自分のふつうは、他の人とはちがうということを頭に入れながら生活し、差別をしないという意志が必要だと思います。そして、私は、このことを頭に入れながら生活して、みんなが幸せな、平和な生活を続けられるように努力したいと思います。



令和5年度「ホタルさんへのお手紙」の紹介

*11月号のつづき



夜空の光

海音(小4 徳間)

今日、家族でホタルを見に行きました。妹は、ホタルを見るのがはじめてなので楽しみにしていました。

ホタルを、実さいに見た時は、きれいでした。

きらきら光っていてまるで、夜空の光みたいでした。

ホタルを見ていたら、お兄ちゃんの手にホタルが止まってきた。ホタルを近くで見たら、きらきらしていて遠くで見るよりきれいでした。

ホタルは仲間のいるところに集まって、オスとオスだったら遠くに行っていることが分かりました。

ホタルは、お尻を光らせて相手に伝えていろんな出会いがあつてすてきだなと思いました。

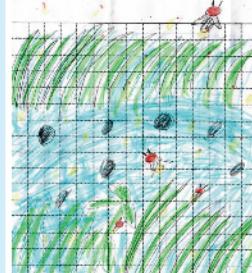
ホタルを見るのはコミわかの人たちのおかげだなと思いました。

きれいなホタルたちを毎年見られるようにするために、ポイ捨てをしないようにしたいです。

ホタル M・S(小5 上野)

今日は、ホタルをみにいきました。ホタルはおもったかずいませんでした。ともだちと弟といきました。7時にいってもホタルはいませんでした。いくにははやいなどおもいました。

ホタルがこっちにきたのでお母さんが1つぴきつかまえました。



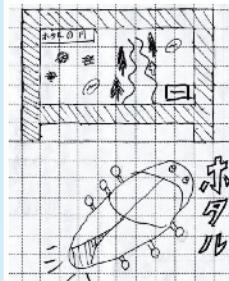
あかりちゃんが1つぴきつかまえました。ホタルはきれいだとおもいました。みてよかったです。

かがやくホタル H・S(中1 上野)

ことしもホタルさんのすがたかがやいていたね。まるで、空にある星のようにかがやいていてキレイだった。ことは、早く見にいったからあまりいなかったけど数少なくともスゴクキレイで、またらい年も見たいと思ったのでらい年もいこうと思います。

今年ホタルさんを見にいくことを楽しみにしています。

ホタルさんこれからもキレイに光ったまま光のよう元気よくしていってね。またらい年も見に来ます。



ほたる

紬希(中1 若槻東条)

ホタルがたくさん星のように光っていて、きれいでした。近くで見たり、手にのってきて、触れて楽しかったです。

なぜ光っているのか不思議に思ったので調べてみたいです。また、来年も見に行きたいです。

